

預言者
ムハンマド

(彼の上に平安あれ)









預言者ムハンマド
(彼の上に平安あれ)



ムハンマドとは?

　西暦571年、預言者アブラハムの息子イシュマエルの流れをくむ高貴な一族に、ひとりの男の子が誕生しました。その子は「称賛される者」を意味するムハンマドという名を与えられました。幼い頃に孤児となった経験から、自分同様の孤児たちや貧しい人々の置かれた苦境をよくわかっていました。ムハンマドは善良な性格の若者に成長しました。全能の神は、「ジャーヒリーヤ(無知の時代)」と呼ばれる当時のアラブにまん延していた飲酒や淫行、強奪といった風潮の悪から彼を守りました。彼に自分の大切なものを預けた人々は、彼をアル・アミーンと呼びました。それは「信頼に足る者」を意味します。イスラムが確

立する以前から、ムハンマドは、彼の社会が抱える問題に関心を持ち、異国からの交易商人に対する取引上の不正を防ぐなど、社会に美徳が広まることを求めていました。

預言者として

40歳のとき、彼はアッラーから大天使ガブリエルによって届けられた最初の啓示を受け取りました。啓示された最初のメッセージとは、*「読みなさい(注:あるいは、「詠みなさい」とも)、あなたの主である創造者の名において」*でした。このようにイスラムは、その始まりにおいてすでに知識の獲得と普及に重きを置いていたのです。そしてこの生き方を教えるために、ムハンマドが遣わされたのでした。

その後23年間にわたり、彼は啓示を受け取り続けました。アッラーにより「クルアーン」と名付けられたこのメッセージは、すべての人類に向けられています。メッセージの基本にあるのは、創造者であるアッラーの唯一性、天使たち、預言者たち、諸啓典、審判の日、あまねく被造物に対して定められたアッラーの定命を信じることです。

預言者としての最初の13年間、彼は人々に対し、偶像崇拝を放棄するよう呼びかけ、唯一の神を信仰する共同体の一員となるよう招きました。最初の信仰者は、預言者の妻であり、ムスリムの「母」として尊敬を集めるハディージャでした。彼がこのメッセージを伝えると、不幸にもメッカの住民たちは、それを彼らの生き方や偶像崇拝に対する脅威であるとみな

إنه من سليمان وإنه

بسم الله الرحمن الرحيم

أبو بكر رضي الله عنه

عمر رضي الله عنه

عن علي رضي الله تعالى عنه
كان إذا وصف النبي صلى الله عليه وسلم قال
لم يكن بالطويل الممغط ولا بالقصير المتردد كان ربعة
من القوم ولم يكن بالجعد القطط ولا بالمكلثم كان
جعدا رجلا ولم يكن بالمطهم ولا بالسبط وكان في الوجه
تدوير أبيض مشرب أدعج العينين أهدب الأشفار
جليل المشاش والكتد أجرد ذو مسربة شثن الكفين
والقدمين إذا مشى يتقلع كأنما يمشي في صبب
وإذا التفت التفت معا

عثمان رضي الله عنه

علي رضي الله عنه

وما أرسلناك إلا رحمة للعالمين

بين كتفيه خاتم النبوة وهو خاتم النبيين أجود الناس
صدرا وأصدقهم لهجة وألينهم عريكة وأكرمهم عشرة
من رآه بديهة هابه ومن خالطه معرفة أحبه يقول ناعته لم أر قبله
ولا بعده مثله صلى الله عليه وسلم اللهم صل وسلم على نبي الرحمة
وشفيع الأمة محمد وآله وصحبه أجمعين نمقه حسين غفر له



しました。彼が弱者の権利を訴えたとき、それは強者を激怒させることになりました。しかしそれは、彼が弱者や抑圧された者の擁護者となったことを意味しました。

彼にメッセージを放棄させるために、賄賂、拷問、追放といったあらゆる種類の策略が実行されました。しかしそうした弾圧にもかかわらず、彼と信仰を共にした者たちは、誰ひとりとしてイスラムを放棄することはありませんでした。西暦622年、ムハンマドは、メッカの北に位置するメディナに移住するよう神から命じられました。これは非常に重要な出来事であり、イスラム暦はこの移住（ヒジュラ）をもって元年としています。ムスリムたちはメディナに、まとまりのある社会を築きました。あらゆる宗教や部族、人種を背景とした多くの人々がイスラムの教えを受け入れ、あらゆる地域の人々が預言者の卓越した性格とそのやさしさの影響を受けることになりました。

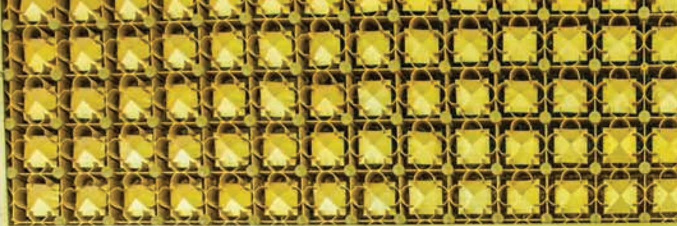
ヒジュラから10年後、預言者ムハンマドは10,000の軍勢を率いてメッカに帰還しました。流血も、復讐がなされることもありませんでした。彼は非常に礼儀正しく、駱駝に騎乗しながらお辞儀をしつつメッカに入ったため、その額はほとんど駱駝の首にふれるほどであったと伝えられています。市街に入ると、彼はその住民たちにこう語りかけました。「*預言者ヨセフが兄弟たちに告げたことを、今日あなたがたに告げましょう。『今日、あなたがたに咎めはない。アッラーがあなたがたを赦したまいますように。あなたがたは、自由の身』と*」。

١٤٣٧  داود

翌年、巡礼の季節が訪れると、彼は別れの説教をし、その中でこう語りました。

「私たちは今、無知の時代の法に背を向ける。今後は、利子に関わるあらゆる行いを捨て去らねばならない。必要なのは公正さであり、いかなる不公正もあってはならない。黒い者も白い者も、富める者も貧しい者も、アラブも非アラブも、すべての人は平等である。私たちを互いに区別するものがあるとすれば、それはただ信仰の深さによってのみ。偶像に対する崇拝はもはや存在しない。……」







このとき、以下の聖句が啓示されました。「この日、われはあなたがたのために、あなたがたの宗教を完成し、あなたがたへのわれの恩情をまっとうし、あなたがたのための宗教としてイスラムを選んだ。……」

（クルアーン5章3節）

632年、預言者ムハンマドはこの世を去り、その亡骸は現在のサウジアラビアに埋葬されました。

彼の美徳



彼は非常に謙虚で、決して卑劣な言葉を口にすることはしませんでした。いかがわしい言葉を耳にしたとき、彼は無言でその場を立ち去ることによって非難を表しました。決して声を荒げることもなく、悪事をはたらかれたからといって、別の悪事でやり返すこともしませんでした。彼を抑圧した人々に対し、決して復讐することはありませんでした。彼は決して神の戒めを破ることはしませんでした。二つの選択肢に直面したときは、神の意志に反することのない限り、常により簡単な方の道を選びました。おだやかで控えめな人物であり、料理や掃除といった家事もすすんで引き受けました。自分に関わりのある範囲の出来事のみを語り、人々にはやさしく接したため、周囲の人々は彼と共にいることに安心をおぼえたものでした。何に対しても、誰に対しても寛大でした。非常にバランスのとれた性格の持ち主であり、もし誰かと同席していたなら、客が席を立つ前に自分が席を立つといったことは決してしませんでした。誰かに苦しめられたとしても、彼は辛抱強く耐えました。誰もが、彼と共に過ごすことを喜びとしていました。彼は　非常に愛情深く、決して荒々しくも、また貪欲でもありませんでした。そして相応の理由がない限り、ほめそやされることを良しとはしませんでした。

社会の改革



預言者ムハンマドは、彼の社会に多くの変化をもたらしました。

- 彼は女性の平等な権利の擁護者でした。彼は妻に対する夫の「所有権」を廃止しました。女性の財産権と相続権を確立し、また結婚の際には女性が自分の意志によって選択もしくは拒否する権利を擁護しました。

- 彼はまた、孤児たちの保護者でもありました。彼らにふさわしい待遇のあり方を確立したのです。彼が繰り返し口にしていた言葉とは、「最も良い家とは、孤児が大切に世話をされる家である。最も悪い家とは、孤児が虐待される家である」でした。孤児が相続すべき財産の悪用を禁じ、彼らが成人したときに、彼らが受け取るべき遺産を正しく確実に受け取れるようにしました。

- 彼は環境の保護者にもなりました。旅の途上で野営をした際には、出立前に仲間たちの中から、必ず何名かの男性にその場のごみ拾いを命じるのが習慣となっていました。

- あらゆる動物に荷を積み過ぎることのないよう命じました。彼はすべての生きものに対し、慈悲深く接していました。
- 信仰者たちに、彼らを取り囲む自然を愛し、尊重するよう教えました。たとえそれが終末の日であろうと、木を植え、その世話をするよう説きました。戦時下において自然を破壊することを禁じ、とりわけ木々を大切にするよう命じました。
- 社会を健全に保つことに多くの関心を寄せていました。飲酒や麻薬、賭博といったものへの依存から人々を助け、また奴隷の解放のために尽くしました。





DİYANET İŞLERİ BAŞKANLIĞI
トルコ共和国 宗務庁
THE PRESIDENCY OF RELIGIOUS AFFAIRS
رئاسة الشؤون الدينية





TOKYO CAMİİ
東京ジャーミイ
TOKYO MOSQUE
جامع طوكيو

151-0065 東京都渋谷区大山町 1-19
03-5790-0760
www.tokyocamii.org